

# 住民力こそ南あわじ市の礎

南あわじ市長 守本 憲弘

新年あけましておめでとうございます。振り返ると、2018年も住民の皆さまに大いに活躍いただきました。



市内では、継続中の福良灘、賀集地域に加え、新たに2地域（阿万・八木）で、地域の課題の解決に向けて住民が話し合い、取り組んでいく地域づくりチャレンジ事業が動き出ししました。また、昨年10月から高齢者等元気活躍推進事業「おもいやりポイント制度」の第1段階の試行がスタートしました。11月末までに市内8施設で、延べ176人のシニアの方に有償ボランティアとして活動していただきました。シニア世代の方々の澁刺と働かれる姿、受け入れ施設の方からの感謝の声に、私自身も元気をいただきました。まさに、住民の力が顕在化してきたと感じます。

人間国宝である竹本駒之助師匠が名誉市民に選定され、授与式ではその卓越した技芸をご披露いただきました。また、淡路人形座のバリ公演に同行し、観衆の拍手が鳴りやまない盛況ぶりを体感いたしました。スポーツ面では、小学生からシニアまで、バレーボール、野球、卓球、空手、水泳等多くの種目で、全国レベルの活躍が続き、夏休みには、毎週のように全国大会の壮行会や優秀な成績の報告会があり、教育委員会は忙しでした。産業面でも、とりわけ食品関連で様々な新商品が誕生しています。水産業と飲食宿泊産業が手を携えて取り組んでいるサクラムスの地域ブランド商品化も成果が出て来ました。お

菓子、酒などでも地道な商品開発が進んでいます。昨秋、商工会青年部が世界一のグルメリテイと呼ばれるサン・セバスチアンに視察に行ってくれました。食材の宝庫南あわじをさらにグルメの宝庫とすべく取り組んでいただくと期待しています。豊かな地域の資産を持つ南あわじ市は、まだまだ伸びしろがあります。それを現実のものとする礎は、地域の住民の力です。今後も住民の皆さまと行政が協働し、本市から魅力的な人材や資源を創出し続けることができるよう、文化・スポーツ振興や産業育成に取り組んでまいります。戊年は災害が多いという話も聞きます。昨年は大阪北部地震に始まり、西日本豪雨、台風20号、21号、北海道胆振東部地震と日本国内で災害が連続しました。幸い南あわじ市においては深刻な被害はありませんでしたが、引き続き、南海トラフ巨大地震や豪雨災害への備えは怠れません。とつさの災害の際、防災・減災・早期復旧の鍵はやはり住民力にあります。市としては、福良湾等での防波堤や水門整備、低地対策、ため池の水位調整等を着実に進めるとともに、防災教育、防災訓練の充

# 謹賀新年

## 平成31年

### 住みよい南あわじ市をめざって

南あわじ市議会議長 原口 育大



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年の日本列島は、6月の大阪府北部地震をはじめ、西日本豪雨、台風20号・21号・24号による被害、北海道胆振東部地震など、全国で災害が多発しました。南あわじ市議会では、大規模災害時の対応として、市議会における災害発生時の対応要綱は策定していますが、業務継続計画（BCP）は検討段階であり、早期設定の必要性を感じたところです。

このことでは、市長会の前向きな意向に議会も同意しましたが、補助金交付直後に航路が休止するという残念な結果となり、議会のチェック機能が問われることとなりました。

二元代表制の一翼を担う議決機関として、執行機関に対する監視と評価機能の重要性ならびに責任の重さを痛感させられました。こうした反省を踏まえ、市民と議会がより身近な関係になるよう、開かれた議会をめざします。さて、元日からのケーブルテレビ放送では、昨年の7月に行われた義太夫節浄瑠璃・竹本駒之助師匠の名誉市民受章記念公演「壺坂観音靈験記」が放映されます。お正月に相応しいおめでたい演目ですので、人間国宝・文化功労者の至芸をぜひとも鑑賞ください。結びにあたり、市民の皆さま方のご健勝、ご多幸をお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

実を通じて災害に対する住民の対応力の向上に努めます。2019年から近畿高校駅伝、アジア国際子ども映画祭が南あわじ市で開催されます。一方、今年には市民まつりの見直しも各実行委員会にお願いしています。内外の多くの皆さまに南あわじ市の魅力が伝わり、経済効果を生み出せる積極的な情報発信に、

官民協力して取り組んでまいります。今年も昨年同様、対話を通じて住民の皆さまと目標を共有し、突破力を持って行動を進めたいと思います。本年が皆さまにとって幸多き年となりますよう心から祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成30年12月17日現在

3月 女流義太夫の竹本駒之助師匠を名誉市民に選定

※7月に名誉市民称号を授与



- 4月 陸の港西淡がリニューアル（サイクルステーションを新設）
- 4月 福良こども園が開園
- 6月 松帆銅鑼に使われている鉛は朝鮮半島産と判明
- 6月 ビーチバレーボール選手・村上礼華さん（志知）のペアが国際大会で優勝
- 7月 福良港周辺施設が「みなとオアシス福良」として登録
- 8月 栄福寺木造釈迦如来坐像が市指定文化財に
- 10月 高齢者等元気活躍推進事業を試行実施
- 10月 淡路島定住自立圏形成協定を締結
- 10月 ジャパニスム2018で淡路人形座がバリ公演



淡路人形座がバリ公演で淡路人形浄瑠璃の魅力を世界へ発信



シニア世代の能力や経験を生かす高齢者等元気活躍推進事業



ワールドツアーで優勝した村上さん（左）・鈴木千代さんペア



陸の港西淡にサイクルステーションを新設